



のいっちゃん便り

野入 仁は、友人から“のいっちゃん”と呼ばれております



こんにちは！10月になりました。10月といえば秋本番ですがいつまでも暑いですね。そして台風！今月の20日以降は「絶対発生しないで！」って願っています。なぜなら甥っ子の結婚式に25日～28日まで宮古島に行くのです！早く海水温が下がりますように。

完成したのかな？」と思っていると、ダム堤の脇に整備された駐車場があったので「ちょっと見ていこう！」と寄り道することにしました。



想像以上！かなり大きなダム湖です。

◆五ヶ山ダムを見してきました。

先月、佐賀のみやき町に仕事に行った帰りのことです。普段この方面からの帰りは、鳥栖⇒筑紫野⇒春日⇒那珂川経由で帰って来るのですが、この日は何故か「たまには違う道で帰ってみるか？」とそのまま真っすぐ背振の山に向かって走りたくなったのです。そしてどんどん山を登って行きました。クネクネの山道が続き、ナビの通りに行ったつもりなのですが途中で通行止めになっていました。「エ～、ナニ！こりゃあマズいんじゃないか？下まで戻らんといかんのか？クッソ～、ここまで来たのに！」と思いながら、仕方なく狭い道をなんとかUターンして戻りました。200メートル位戻ると、登ってくる時は気が付かなかったのですが分かれ道があって「下まで戻りたくないから、こっちに行ってみようかな？でも、また変な方向だったらどうしよう？」と思いながらもそっちに進むことにしました。鬱蒼とした狭い山道で「ここを夜に通ると真っ暗で怖いだろうな～」とそんなことを考えながら恐る恐るゆっくり進んで行くと急に視界が開けて背振トンネルから続く道に合流しました。「ア～、助かった。ここまで来ればもう安心！」とやっと平常心に戻って運転できるようになりました。皆さんも経験が有ると思いますが、道が分からず不安を抱えながら運転するのはなんとも心細いものですね。そしてホッとしながら進んで行くと右手に大きなダム湖が見えてきました。「そういえば前に通った時に大きなダムを作る工事をやっていたけど、もう

このダムは2012年6月に着工し2016年10月にほぼ竣工し水を貯め始めた「五ヶ山ダム」です。現在は試験湛水中（ダム完成後に水を限界まで貯めて問題ないか確認する試験）とのことですが、8月末の大雨によりついに満水位に到達したそうです。駐車場からダム堤の上を対岸まで遊歩道が造られていて真ん中まで行けば雄大な景色を見ることができます。世の中には“ダムマニア”と言われるダムの愛好家の人たちがいて各地のダムを鑑賞なさっているそうですが、確かに巨大なダムの雄大さを直に見るとダムマニアの人たちの気持ちがわかるような気がしました。でも、ダムにより水没した集落や自然もあり二度と戻って来ないのも事実なのでそれを考えると少し残念にも思えます。



広い遊歩道で対岸まで556メートルあります。

このダム堤の高さは102.5mもありダム湖の反対側をのぞくとあまりの高さに足元がゾワゾワします。



また、ダム堤の近くには那珂川市が運営する「五ヶ山クロス」という商業施設があり、今年の3月にアウトドア用品のモンベルの大型店がキャンプ場を併設してオープンしました。「こんな山の中にお客が来るのかな？」と余計な心配までしてしまいました。



キャナルシティの店舗にも負けない位の大型店です。

◆母の入院

佐世保で一人暮らしの母から9/5に電話がありました。なんと入院したと言うのです。話を聞くと数日前から具

合が悪く、ひどく寒気がするので踏み台に乗って押入れから毛布を出そうとした時に転倒して背骨を圧迫骨折したとのこと。電話の声が元気無かったのが気になったものの骨折なので緊急性は無いと思い9/8(日)に、熊本の妹とカミさんの3人で様子を見に行きました。病院に行く前に実家に寄って片付けをしようとしていた時に主治医から電話が入りました。重篤な状態だということです。「昨日まで電話で話していたのにどうということ？」と不審に思いながら慌てて病院に駆けつけると母には点滴や電極がいくつも付けられていてぐったりした様子です。病状説明では、敗血症になっておりショック状態。入院時から感染症だったと思われるが当初整形外科が主治医だったため治療開始が遅れた。高熱が続き血圧も低下している。抗生剤を投与しているがどれも効かない。感染原因菌も不明。多臓器不全の状態で助かる見込みは50%くらい。この2~3日がヤマだということです。そして心臓や呼吸が止まった時に延命治療をどうするか意向確認書を書かされました。まさかのことでその日は病院に泊まり、神戸の弟や北海道、東京、名古屋、京都の孫たちにも知らせると、みんな駆けつけて大集合となりました。病状は3日経っても好転しないためICUに移されました。酸素マスクを付けられ全身がパンパンにむくんだ母の姿を見て「お盆の時はあんなに元気だったのに」と思い涙が出ました。そして葬式の検討までしたのです。私達はその週はほとんど病院で過ごしました。ICUのおかげで容態は徐々に落ち着き11日後に一般病棟に戻ることが出来ました！が、すっかり体力が落ちて寝返りすらうてなくなりました。現在は、病院スタッフの方々のお世話になりながら体力・運動機能の回復のため食事とリハビリを開始しております。そしてまもなくリハビリ専門病院に転院する予定です。

◆終わりに・・・

8月は単に時間切れでお便りを出せませんでした。9月は母の入院騒ぎでこれまた時間切れ。時間切れにならない準備が大切ですね。

